

SS JOURNAL

2024
Vol.75

—誰もが自分らしく生きることのできる社会を目指して—



【講師プロフィール】
松中 権（まつなか けん）氏

認定NPO法人グッド・エイジング・エールズ代表理事
ダイバーシティ理解促進推進員
—認定NPO法人グッド・エイジング・エールズ 代表理事—

1976年、愛知県生まれ。一橋大学経済学部、経済学修士。就職先は、株式会社日立製作所。日立グループで約10年間勤務。その後、認定NPO法人グッド・エイジング・エールズに入社。2014年に代表理事に就任。2019年にダイバーシティ理解促進推進員に就任。2023年にグッド・エイジング・エールズが認定NPO法人として認定されたことに伴って、代表理事に就任。現在は、ダイバーシティ理解促進推進員として、ダイバーシティ理解促進のための活動に取り組んでいます。

【日時】2024年1月15日（月）
14:00～15:30
（受付13:30～）

【場所】岐阜県岐阜市橋本町1丁目10番地11
じやうらくプラザ 3F会議室2

【対象】対人支援に関わる方（福祉/教育/医療/介護/行政/企業/学際関係者）

【申込方法】
申込フォームから
お申込みください。

メールでのお申込みの受付は、下記必ずお記入の上、件名を「1月15日研修お申込み」としてお送りください。
メールアドレス: info@sus-sup.org
申込締切: 2024年1月12日（金）
記載内容: ①氏名②所属③メールアドレス



「性の多様性を知ろう」 講演会を実施しました

就労移行支援事業所ノックス岐阜では、1月15日に「性の多様性を知ろう」をテーマに公開研修を主催しました。今回は、認定NPO法人グッド・エイジング・エールズ代表の松中権様をお招きして、ダイバーシティ理解促進を目的とした講演会を行いました。

最近では「LGBTQ」という言葉を耳にする機会が増えましたが、性の在り方は本当に多様です。今回の講演では、自身も当事者として活動されている松中様の生い立ちから、支援団体としての活動、また日本におけるLGBTQ+施策の現状まで丁寧にお話しいただき、参加者全員が理解を深めるきっかけになりました。また当日は、約80名の関係機関の方々にもご参加いただき、講演後には新聞社やテレビ局等の各種メディアにも多数取り上げていただきました。

日本におけるLGBTQの割合と、うつ病などの精神疾患者の割合は、どちらも10%ほどという調査があります。LGBTQと精神疾患は親和性が高いとも言われていますが、どちらもその悩みを打ち明けることは、簡単なことではないのではないのでしょうか。

就労移行支援事業所ノックス岐阜では、精神疾患だけでなく、性の悩みに関するご相談も受け付けております。本来であれば、就職に性別は関係ないはず。そんなときは一人で抱え込まず、まずはお気軽にご相談ください。（本講演会は、岐阜市社会福祉協議会「歳末たすけ合い援助事業助成金」により実施いたしました。）



新規利用者
募集中!



厚生労働省に意見書を提出し、記者会見を開きました

～学生から社会人への移行期に「のりしろ」のある支援を～

「若者がひきこもりや生活困窮となる前に、予防的に支援することはできないか」という思いから立ち上げた「ぎふキャリアステップセンター」。

3年間の実践を経て見えてきた成果報告と、若者の孤立を防ぐ支援の仕組みを広めるために、2024年3月13日、厚生労働省に「大学生から社会人になるまでの移行期には、困難を抱える若者に適切なサポートを提供して孤立させない「のりしろ」のある支援を社会全体で行っていく必要がある」と意見書を提出し、同日、厚生労働省にて開いた記者会見にて学生から社会人への移行期の支援を訴えました。



ぎふキャリアステップセンター（ぎふキャリ）

実践報告会開催！

～若者の孤立・貧困を防ぐ新たな社会の仕組みづくりを目指して～



2024年3月21日（木）に、2021年度からスタートし3年間歩み続けてきた『ぎふキャリアステップセンター』の総括となる実践報告会を、岐阜市「ぎふメディアコスモスかんがえるスタジオ」にて開催しました。ハイブリット形式で実施し、現地会場17名、オンライン17名の合計34名の支援や行政関係者、企業の方などにご参加いただきました。第1部は事業の実践報告に続き、ジャーナリストの津田大介氏をお招きし、本事業の背景にある社会課題の理解を深め、トークセッションを行いました。

ぎふキャリから見えた3つの成果

- ①既存の支援につながりにくい若者・学生へアプローチできた。
- ②予防的支援の意義を実証できた。
- ③サードプレイスを併設することでより効果的な支援が実現できた。

についてご意見を伺いました。

また津田氏より、サードプレイスは数字では評価できないが大事なところ、若者の意識と社会側の期待値、また、言葉は大事でネーミングを変えることで意識を変えるなどのお話をいただき、会場の皆さんもうなずかれるような光景が見られました。

第2部は、会場参加者がグループに分かれ、意見交換を行いました。様々な領域、分野から現状の課題やぎふキャリへの意見をいただきました。

本事業は3年間、独立行政法人福祉医療機構（WAM）からの助成を受け実施してきました。3年間のモデル事業期間は終了となりますが、「ぎふキャリ」として若者の支援を継続していく必要性を強く感じています。ご相談・居場所支援は引き続き受け付けていますので、お問い合わせください。

ぎふキャリ&BA-SE ～3年間のあゆみ～

独立行政法人福祉医療機構の助成事業として2021年度から2023年度にかけて運営してきたぎふキャリアステップセンター『ぎふキャリ』が、今年の3月末をもって一旦区切りを迎えます。

「働きたい」と願う18歳～概ね35歳のすべての若者が自分らしい働き方と出会えることを目標に、平日の午後1時から5時まで無料で利用できるサードプレイスをオープンしてきました。働いた経験がない若者向けのケア付き単発アルバイトや働く準備講座、日常生活に役立つ講座や就職活動を始める前に知っておきたい企業や職種の講座、個別面談のサポートなどです。初年度は10名だった利用者が3年間で70名を超え、働く一歩を踏み出した若者は25名となりました。3年間を通じて改めて気づいたことは、働き方や就職活動のペースには個人差があるということです。また、面談サポートによる自己理解促進だけでなく、コミュニティの中で他者との繋がりを得ることで、働く意欲や興味が醸成される可能性が高まるということです。

利用者の方からは「人と関わるのが億劫になっていた私にとって、ぎふキャリは利用者やスタッフの方々と共に過ごすことで、少しずつ人と関わることに慣れていくことができた良い場所でした」「自分自身の目標が設定できたのはぎふキャリのおかげだと思っています」といったありがたい感想をいただいています。



次年度のぎふキャリは、カタチを変えて運営できるよう準備中です。「働きたい」と願うすべての若者が自分らしい働き方と出会えるよう、今後も全力でサポートしていきます！

キャリアプロ実施報告

～のりしろのある支援を目指して～

今年7年目を迎えたキャリア支援プログラム「キャリアプロ」は、コミュニケーションや就職活動に不安のある大学生や大学院生などを対象に、就活準備講座やサークル活動を実施しています。2023年度も11回実施し、延べ52名が参加してくれました。卒業時就職決定者は1名です。

2024年度も5月スタート予定で「キャリアプロ」は継続実施いたします。お気軽にお問合せください。



■ぎふキャリ&BASE

※実施場所はお問い合わせください

TEL : 080-4730-0092

MAIL : hello@gifu-career.com



ぎふキャリHP

■キャリアプロ

〒500-8175

岐阜市長住町2-7 アーバンフロントビル3階

TEL : 070-5579-7747

MAIL : career-pro@sus-sup.org



キャリアプロHP

2023年度を振り返って



2023年度は、5月にコロナが5類となり一気に社会が動き出した1年でした。コロナ禍で開催できなかった行事などが解禁となり、「元通り」の生活に笑顔が溢れた一方で、「在宅」「オンライン」の生活・働き方から一気に「元通り」となったことに、戸惑いのあった人も見られました。コロナ禍で広がった多様な働き方・生活様式は、今後も定着していくのでしょうか。サステイナブル・サポートでは、コロナ禍以降、オンラインでの支援にも取り組んできました。これまで相談や支援は来所が基本で在宅は認められていませんでしたが、オンラインの支援により、なかなか外に一步出られない方ともつながり続けることができました。想定外の出来事が起こったとき、それは変化を生み出す機会となるかもしれません。「ここでいま、私たちは何ができるか」を考え、柔軟に変化し続ける勇気が成長につながるのかもしれません。この先も、様々な想定外の中で活動を継続していくことになると思います。どのような状況にあっても、変化を恐れず、私たちに出来ることを実直に取り組んでいきたい所存です。2024年度も引き続きのご指導・ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます！

調印式を行いました

ぎふハッピーハッピープロジェクト2023

3月8日に「ぎふハッピーハッピープロジェクト（以下HHP）2023年度活動報告会」が行われました。報告会では寄付金の贈呈式と新たなプロジェクトの調印式を行いました。2023年度、一般社団法人サステナブル・サポートでは、株式会社坂口捺染様、株式会社スパダ様、株式会社文化社様からご寄付をいただきました。特に坂口捺染様においては、岐阜大学の学生さんを中心にした協働プロジェクトとして、様々な工夫を織り交ぜながら、実施していただきました。



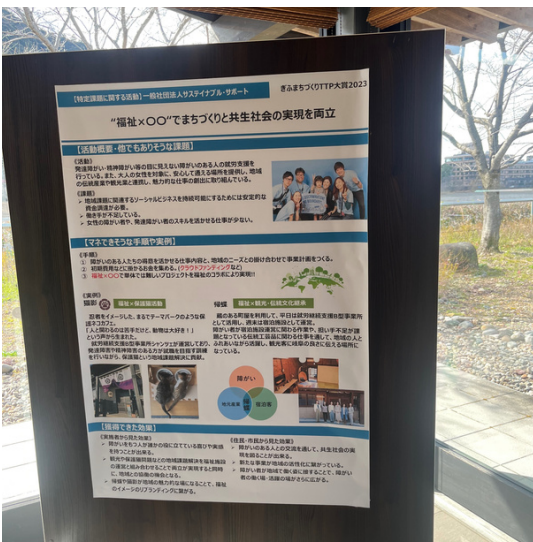
また、以前よりご寄付をいただいている柳ヶ瀬プロレスのまり卍様とは新たなプロジェクトを締結。HHPは社会問題に取り組むNPO団体等と企業が協働し、プロジェクトや商品の売上げの一部が寄付となる仕組みを通じて、たくさんの人たちにハッピーを届ける地域共同プロジェクトです。ハッピーの輪が、この岐阜の地で、もっともっと広がりますように。一般社団法人サステナブル・サポートでは、来年度もこの活動を継続してきます！



ぎふまちづくりTTP大賞に ノミネートいただきました

～TTPで良いまちへ～

ぎふまちづくりTTP大賞2023にノミネートいただき3月9日、うかいミュージアム四阿での授賞式に参加しました。惜しくも大賞は逃しましたが岐阜大学の学生さんが【「福祉×〇〇」でまちづくりと共生社会の実現を両立】をテーマに、就労継続支援B型事業所アリーが運営する「帰蝶」と就労継続支援B型事業所シャンツェが運営する「猫影」をパネルにて紹介してくださいました。TTPとは「てっていきにパくる」の略で、いいことをマネするという意味だそうです。良い活動を真似して自分たちの住むまちを良くして行こうという取り組みです。ノミネートされた団体は4団体。「地縁コミュニティ部門」では自分たちの暮らすまちを暮らしやすくしていこうという取り組みが、「目的型コミュニティ部門」では子供たちの育成への取り組みと当団体の活動が紹介されました。どの団体も素敵な取り組みばかりで各団体を紹介して下さった学生さんの発表をとっても興味深く聞かせていただきました。





おかげ様で「猫影」1周年

おかげさまで猫影オープンから1年がたちました。最初は、馴れない営業にスタッフが右往左往しながらでしたが、毎日お客様に楽しんでいただけるよう考えました。

「猫影」は就労継続支援B型事業所シャンツェが運営する猫カフェとして利用者の社会へのステップアップをお手伝いする場の他に

【猫たちのことを知っていただきたい】

【保護猫のことを広めたい】

【命の大切さを伝えたい】

という思いで営業をしてきました。



猫影Instagram
忍者猫情報配信中

猫とのおだやかな時間をカフェ空間で過ごすためには猫の環境を良くしていくことが大切です。利用者の皆様が仕事として猫のお世話をがんばってくださっています。そのおかげもあり「猫がみんな綺麗」「よく遊んでくれる」とお客様からお声をいただけるようになりました。猫影に「はじめての猫カフェ」としてお越しいただいたお客様も多く、とてもうれしく思います。

猫影から卒業し幸せになった猫たちは7匹となりましたが、まだまだおうちを待っている子たちのため今後も利用者、スタッフ一丸となって邁進していきたいと思っています。



猫影へのMAP

Schanze!

■就労継続支援B型事業所 シャンツェ

〒500-8225 岐阜市岩地2丁目20-20

TEL : 058-201-0846

MAIL : schanze@sus-sup.org

新規利用者
募集中!



Schanze Instagram

～喫茶alley～開催

alleyでは2月に余暇支援としてスモア作りとラテアートを行いました。開設直後にコロナ渦に見舞われ、これまで事業所内で調理ができない状況にありました。

今回、はじめての試みにスタッフ一同不安はありましたが、さすが女子たち！美味しい♪可愛い♪喫茶alleyを作り上げました。それぞれのラテアートが上手くいったときには、声を揃えて『かわいい～』と大歓声。女子会にはぴったりな素敵な時間を過ごすことができました。



アリー alley

■就労継続支援B型事業所 アリー

〒500-8008 岐阜市玉井町36番地1

TEL : 058-201-5990

MAIL : alley@sus-sup.org

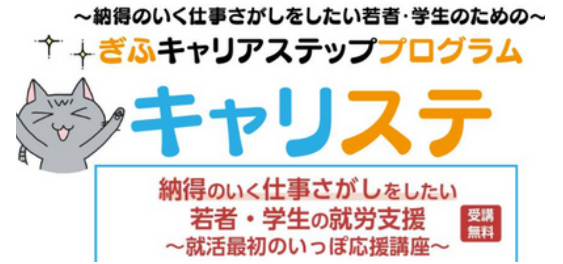
新規利用者
募集中!



Alley Instagram

岐阜市委託事業「キャリアステ」

岐阜市委託事業「ぎふキャリアステッププログラム【キャリアステ】」は、連続講座4回、パソコンを使用したインターンシップ体験1回、希望者参加型の企業インターンシップ体験を実施しました。参加者のべ人数は63名、企業インターンシップ体験には3名が参加してくれました。セミナー期間中から個別サポートも行い、4名が就職活動に移行し、うち1名が就職決定しました。今後も一人では就職活動がうまく進まない若者に丁寧なサポートを行っていきます。



自分のペースで動いています

～Dさんの取り組み～

Dさんは30代半ばで、広義な意味（買い物等外出するが社会との接点が家族以外にない）でのひきこもり歴20年弱の方です。「今の状態から変わりたい」と岐阜県のホームページをご覧になりお問合せいただいたのがきっかけでした。就活に関するミニプログラムの受講やグループワークに積極的に参加し、また面談を通して、今の自分の状況や今後の課題を俯瞰することができるようになりました。「ぎふ若者サポートステーション」や「ひきこもり地域支援センター」も利用しつつ、自分にとって必要なことを選択し、自分のペースで動いています。



公開成果報告会を開催 ～WORK!DIVERSITY実証化モデル事業～



WORK!DIVERSITY実証化モデル事業を多くの皆様にご覧いただくため、2024年2月29日岐阜メディアコスモスにて公開成果報告会を開催しました。利用者や支援者、企業の皆様と様々な視点から事業を振り返り、今後の課題について話を聞きました。当日は60名を超える参加者が集まり、参加者からは「利用者の生の声を聞いたことは貴重。この事業の必要性を強く感じた。」「障害としての診断は出ていないけれど、生きづらさを抱えている人たちにとっては、社会に出る事ができる可能性が大きく広がる取り組みだと思う。全国各地に広がってほしい。」との感想をいただきました。引き続き利用者を募集しております。当事者やご家族、支援者の方でも結構です。

お気軽にご相談ください。

TEL：058-216-0520

WORK!
DIVERSITY
プロジェクト
in 岐阜



WORK!DIVERSITYプロジェクト HP

